

経営のヒントとなる言葉
渋沢栄一
「順逆は人自ら造る境遇なり」

Index

渋沢栄一（実業家）

渋沢栄一（実業家）

「順逆は人自ら造る境遇なり」（*）

出所：「渋沢百訓 論語・人生・経営」（角川学芸出版）

冒頭の言葉は、

「『順境』『逆境』という境遇は、自身の心掛けと努力によって作られる」ということを表しています。

1867年、渋沢氏はパリ万国博覧会使節団の随員として欧州を視察し、西洋文化に触れて大きな感銘を受けました。帰国後は明治新政府に入り、大蔵省（現財務省）勤務を経て実業界へ転じ、数々の企業の創設を手がけ、生涯を通じて実に約500社もの企業の育成に関わったといわれています。

こうした足跡から、渋沢氏は運に恵まれ、常に順境にあったと思われがちです。しかし、渋沢氏自身は、「順境や逆境というものは与えられるものではない。順境や逆境は、基本的には人間が自ら作り出すものである」ととらえていました。すなわち、順境にあるように見える人は、常に前向きな志を持ち、絶えず真面目な努力を重ね、その結果として自分自身で順境をつかみとっているのです。逆に、もし日ごろから不平不満が多く、真面目な努力を怠っているならば、その人は自ら逆境に陥ってしまうことでしょう。このように、渋沢氏は「順境と逆境は、その人の心掛けと努力の結果によって作られる」と考えていたのです。

サンプルレポート

本レポートは、サクセスネットで公開している
ビジネスレポートの一部を公開したサンプルです。
サクセスネットサイトにログインした後、全文を
閲覧することができます。